



特集
テーマ

ここは 地域みんなの学校

平成27年1月20日発行(昭和51年12月1日発行)



ホタルの幼虫を放流
地域の「アヤマとホタルの会」のおじさんと、学校で育てたホタルの幼虫を近くの水路に放流しました。

私たちの学校は、
地域みんなが集まる
大切な場所です！

駒ヶ根市立 中沢小学校

明治42年(1909年)に地域の人の寄付によって建てられました。以来、地域の人々に支えられている「地域とともにある学校」です。

学校には毎日たくさんの
地域の人がやってきます。



放課後学習



駄菓子屋さん

駄菓子屋さんには
小さな子たちも……



そうそう、
しっかり
おさえてね



算数の授業

いっぱい遊んで
いっぱい学ぼう！



習字の授業



音楽会の練習

中沢小学校 応援隊 の皆さん



なんといっても
子どもたちは、
中沢の宝ですから！

中沢小学校 校長 木下幸安 さん

地域のみなさんには
こんな思いが……

わしらも
通わせてもらった
学校だからね。

学校から中沢を
元気にしたい！

応援隊
チョコっと部隊
お母さんたちも
毎日出勤！

忙しい先生を
チョコっと
お手伝いします。

中沢が
大好きです！！



協力：駒ヶ根市立中沢小学校、中沢小学校応援隊運営委員会の皆さん、中沢小学校 保護者の皆さん



里山遠足

遠足のキノコ狩りにも
一緒に行きました。



中沢の良さを
伝えたい。



私たちが本当に
助かります！



中沢小学校 校長 田畑静夫 先生

応援隊の人が描いた
先生の顔絵

調理実習

お母さんたちも
楽しいんです！

各校のボランティア・地域活動の紹介

箕輪町立 箕輪東小学校

「伝えたいな」私たちの気持ち

3年間の介護老人施設「わかな」との交流を通して



外は気持ち
いいですね。



おしほりを手渡しながら昼食準備

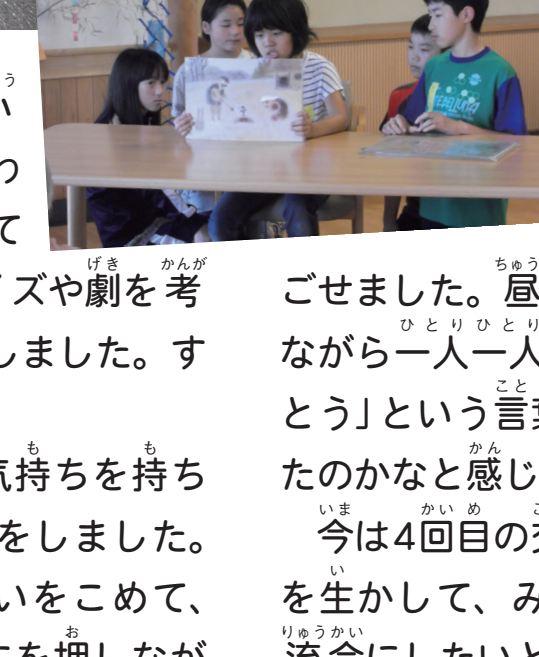


楽しいねえ。
次は私の番よ。

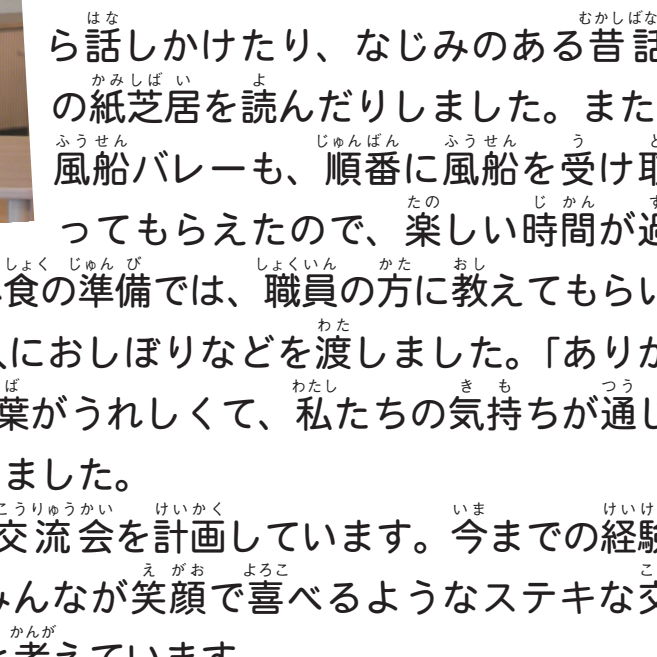
おばあちゃん、
いくよー！

6年2組は4年生の時から3年間、小学校の近くにある介護老人施設「わかな」のおじさんおばあさんと交流してきました。5年生の時には、自分たちでクイズや劇を考えて発表したり、折り紙と一緒に折ったりしました。すると、とても喜んでくださいました。

「もっと、喜んでほしいな……」そんな気持ちを持ち続け、6年生になってから3回目の交流会をしました。「今度は、もっと笑顔が見たい」という願いをこめて、寄り添ってできる活動をしました。車いすを押しながら



好評だった「昔話」の紙芝居



盛り上がった風船バレー

ら話しかけたり、なじみのある昔話の紙芝居を読んだりしました。また、風船バレーも、順番に風船を受け取ってもらえたので、楽しい時間が過ぎました。昼食の準備では、職員の方に教えてもらいながら一人一人おしほりなどを渡しました。「ありがとう」という言葉がうれしくて、私たちの気持ちが通じたのかなと感じました。

今は4回目の交流会を計画しています。今までの経験を生かして、みんなが笑顔で喜べるようなステキな交流会にしたいと考えています。

「早く植えたいな」「たくさん植えよう」とあらためて思いました。



植樹の予定地

あの震災を
忘れないで

津波の被害を受けた
里山をよみがえらせよう！

津波の被害を受けた宮城県山元町の里山をよみがえらせるために、被災地のドングリから苗木を育てる「たねぷろじえくと」に取り組んでいます。

長野大学の皆さんと一緒に、2年生がドングリの苗木を育てています。



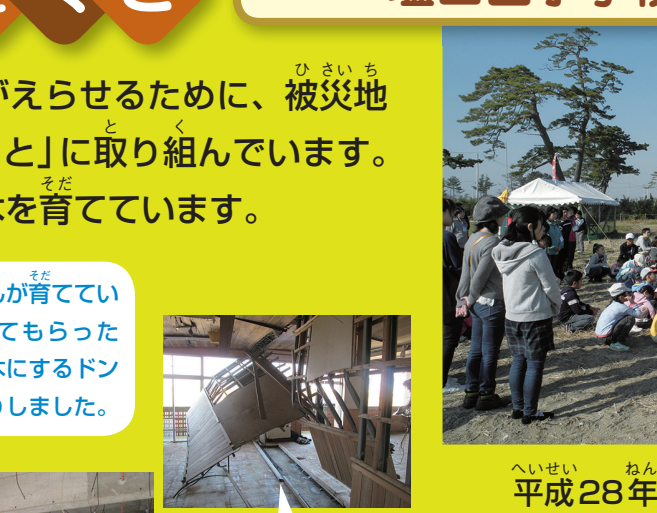
育てているドングリの苗木



山元町を訪ねて交流会



10月に宮城県山元町を訪ねて、同じ活動をしている山元町立坂元小学校、白石市立第二小学校の皆さんと交流会をしました。



津波の被害にあった中沢小学校を訪ねました。津波の恐ろしさ伝わってきました。



ほらっくん



ほらっくん

私たちにできること

大槌町復興支援のための三つの取り組み



「大槌町訪問」



津波跡地での献とう



「大槌町支援のための資源回収」

昨年度、軽井沢町では、東日本大震災で大きな被害を受けた岩手県大槌町への復興支援を10年間行うことに決めました。そこで、私たち中部小学校でも「何かできないだろうか」と考え、児童会を中心に三つの大槌町支援活動に取り組んでいます。

一つ目は、「大槌町を知ろう月間」です。福祉委員会を中心に大槌町について調べ、新聞にして掲示しました。大槌町の場所や特産物、地震や津波による被害の様子も全校に伝えることができました。

二つ目は、「大槌町訪問」です。夏休みに、

児童会役員が代表として訪問し、全校で書いた応援のメッセージを届けました。町の人たちは笑顔で迎えてくださりうれしかったです。けれども、まだ仮設住宅があって皆さんの生活は安定しておらず、ショックでした。これからも支援が必要だと強く感じました。2学期には報告会を開き、現地の様子や訪問しての感想を全校に伝えました。

三つ目は、「大槌町支援のための資源回収」です。軽井沢中学校と協力をしながら、資源回収を行っています。集まったものは、大槌町の小中学校の学用品を購入するための費用になります。これからも資源回収で、大槌町復興に向けてたくさん支援してまいります。

「大槌町について」の新聞の掲示

「大槌町を知ろう月間」

チャイルドライン

フリーダイヤル 0120-99-7777

困っているとき、悩んでいるとき、なんとなく「だれかに話したい」、そんなとき……気軽にかけてください。

★ちょっといいにくいけども、名前は言わなくていいので安心して話してください。

★お説教はしません。どんなことでも、いっしょに考えます。

みんなにカードが送るよ。フリーダイヤルでかけてね！

チャイルドラインはみなさんの赤い羽根共同募金が設立されています。

あなたのまちのボランティアセンターへ行こう！

●発行/お問い合わせ ● ふれあいネットワーク

社会福祉法人 長野県社会福祉協議会

〒380-0928 長野市若里7-1-7 県社会福祉総合センター内

TEL.026-226-1882 FAX.026-228-0130

電子メール vcenter@nsyakyu.or.jp

ホームページ http://www.nsyakyu.or.jp

公益社団法人 信濃教育会

〒380-0846 長野市旭町1098 TEL.026-232-6994

ホームページ http://www.shinkyu.or.jp/

やまびこだよりは、長野県社会福祉協議会のホームページからPDFファイルとしてダウンロードできます。どうぞご利用ください。

http://www.nsyakyu.or.jp

この新聞の発行には、みなさんの赤い羽根共同募金が設立されています。

